

# 2023年度「保育内容等の職員自己評価」のためのチェックリスト

佐原めぐみこども園

自己評価チェック内容		(1) 月回答		
		A	B	C
所属（ ）氏名（ ）				
<b>基本項目</b>		よく出来ている	ほぼ出来ている	努力が必要
1	保育の基本（保育指針・教育要領）を理解している。	1	18	7
2	園の理念や保育目標を理解している。	1	22	3
3	園の全体的な計画（保育課程・教育課程）を理解している。	2	17	5
4	園の理念や方針に基づき、指導計画を立てている。	2	14	10
5	定期的に自己評価をして、保育の改善に努めている。	2	18	6
6	保育の計画や実践に向けて、創意工夫に努めている。	1	15	10
7	自分の保育のよさと課題を認識している。	2	14	10
8	すぐにでも取り組まないといけない課題の改善に努力した。 課題の内容（ ）	4	16	6
9	保育雑誌や専門誌などを読んだりして、保育の情報を集めている。	3	13	10
10	園の会議などで子どもの利益を一番に考えて発言している。	6	12	8
11	業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。	26	0	0
<b>子どもとの関わり 「生命の保持・心の安定」</b>				
1	ひとりひとりの発達を理解して接している。	5	15	6
2	ひとりひとりの生理的欲求が満たされるように配慮している。	9	16	1
3	登園時にやさしく声をかけるなど、状況に応じて対応している。	20	5	1
4	わかりやすい言葉でおだやかに話しかけている。	8	15	3
5	子どもが何を求めているのか、常に配慮して接している。	7	16	3
6	子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。	10	14	2
7	制止やせかす言葉を不必要に使わず、ひとりひとりに合わせた対応をしている。	2	14	10
8	「あとで」などと待たせず、なるべくその場で対応している。	3	13	10
<b>「健康・安全」</b>				
1	食事や排泄などの生活に必要な活動に自ら取り組むように配慮している	12	13	1
2	食事やおやつを楽しめる雰囲気作りをしている。	11	13	2
3	子どもが育てた物を食事やおやつに出し一緒に食べるなど、食育に心がけている。	0	6	13
4	偏食や食べ残しを直すために過度に叱らないように配慮している。	0	6	13
5	トイレの後や食前の手洗いなど、清潔にする習慣が身につくよう働きかけている。	17	9	0
6	体を動かすことを楽しむように働きかけている。	16	9	1

7	危険を意識して行動するよう、安全について指導をしている。	9	15	2
<b>「人とのかかわり」</b>				
1	友達とのかかわりで、友達の良さや大切さに気づくようにしている。	10	12	4
2	子ども同士が互いの気持ちや発信を受け入れられるように配慮している	12	13	1
3	順番を守るなどのルールが身につくように配慮している。	14	11	1
4	活動を通して、共用の道具や遊具を大事にすることを体験できるようにしている。	11	13	2
5	人と心が通じ合う喜びを伝えるように接している。	9	17	0
6	異年齢の子どもとかかわることを大切にしている。	3	16	7
7	外国の人や文化の違う人に親しみをもつ機会をつくっている。	0	0	26
8	地域の人や高齢者と親しむ機会を作っている。	1	5	20
9	家族の愛情に気付き、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	5	14	7
<b>「表現活動」</b>				
1	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会をつくってる。	2	11	13
2	感じたことや考えたことを自由に表現する機会をつくっている。	5	18	3
3	子どもが自由に歌ったり、踊ったりすることを楽しめるようにしている。	6	15	5
4	さまざまな素材や用具と接し、自分で工夫して遊べるようにしている。	1	14	11
5	子どもの作品を大事に扱い、工夫して飾るなどしている。	6	9	11
<b>「言葉」</b>				
1	心のこもったあいさつをしている。	20	6	0
2	正しく、丁寧な言葉がけをしている。	7	15	4
3	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を相手の気持ちを大切に して指導している。	15	11	0
4	わからないことを子どもが聞けるなど、安心して話ができる雰囲気を作 っている。	13	13	0
5	子どもが人前で話をするときに、相手にわかりやすくはなせるように、 援助している。	7	17	2
6	絵本や物語などは、子どもの発達や興味・関心に即したものを提供して いますか？	10	11	5
7	ごっこ遊びなど楽しい雰囲気の中で、言葉のやりとりができるように 子ども同士の仲立ちを行っていますか。	12	13	1
<b>保育環境</b>				
<b>「環境づくり～心地よい生活の場」</b>				
1	ひとりひとりが安心して過ごせる環境づくりを心がけている。	10	14	2
2	自然とのふれあいを大切に心が豊かになるよう配慮している。	2	15	9
3	四季に応じて、保育室の環境を整えている。	4	12	10
4	保育室の温度や湿度、通風に配慮している。	11	14	1
5	適切な声の大きさに接している。	10	15	1
6	子どもが不安になったり、話しかけてきたりしたときに応じられるよう にしている。	18	8	

7	トイレや手洗い場を清潔に保っている。	15	11	0
8	遊具・おもちゃ、砂場などの点検や消毒を定期的に行っている。	9	15	2
9	必要な場所に転倒防止対策をしている。	6	15	5
10	不審者などの侵入を防ぐ対策をしている。	8	11	7
<b>「環境づくり～成長を促す」</b>				
1	発達に合ったおもちゃや遊具を用意している。	6	18	2
2	子どもの導線を考えて、遊具や用具を配慮している。	8	13	5
3	子どもが動植物にふれあう機会をつくっている。	5	7	14
4	ひとりひとりの興味に合わせて、好きな遊びができるようにしている。	10	15	1
5	園外保育で、公共機関などを利用し、地域に興味をもてるようにしている。	5	6	15
6	伝統的な行事を生活の中に取り入れている。	1	15	10
7	日常的な生活や環境のなかで標識や文字に関心をもつ工夫をしている。	2	12	12
<b>保護者のかかわり 「情報の発信と受信」</b>				
1	保育の方針や内容を保護者にわかりやすく説明している。	1	11	14
2	個々の家庭の養育方針を理解している。	1	12	13
3	送迎時や連絡帳などでの日常的な情報のやりとりを大切にしている。	16	10	0
4	連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしている。	9	10	5
5	必要に応じて保護者の個別面談を行っている。	3	5	15
6	懇談会など、保護者との意見交換の機会を設けている。	3	13	7
7	緊急時は電話などで、迅速な連絡を行っている。	13	10	1
<b>「支援」</b>				
1	家庭と協力して、子どもが健康的な生活リズムを身につけられるようにしている。	6	11	3
2	子どもの育ちの課程を伝え合い、共通理解に努めている。	11	12	1
3	悩みや不安を話せるように心を開いて対応している。	11	10	5
4	保護者の保育参観など子育てについて共通理解を得るための機会を設けている。	4	12	10
<b>「マナー」</b>				
1	すべての保護者に対して、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている。	20	5	1
2	丁寧な言葉や敬語を使っている。	11	15	0
3	子どもの体調不良などの連絡時の伝達方法に配慮している。	14	11	1
4	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	11	11	4
<b>ほかの保育者とのかかわり 「良好な関係と協働性」</b>				
1	園長や副園長、主幹保育教諭、同僚を尊重し、良好な関係を築いている。	18	8	0
2	園長や副園長、主幹保育教諭、同僚の言葉を素直な気持ちで受け入れている。	14	12	0
3	報告や連絡、相談をするように心がけている。	16	10	0
4	あなたが休んだ日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。	14	11	1

5	園が目指す目標に向けて互いに協力している。	12	12	2
<b>「保育士としての資質向上」</b>				
1	自己評価を基に、職員間で保育内容の対話を重ねている。	5	14	7
2	自分の保育のふりかえり、問題点や課題を見つけることができますか。	7	13	6
3	保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけて、そこから学ぶことができますか。	3	14	9
4	研修で得た内容、成果は園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立っていますか。	3	14	9
5	研修に進んで参加をし、知識や技術の習得を図っている。	1	10	15
6	国や自治体の公刊物、インターネットなどで、保育関係の情報を日頃から収集するように心がけていますか	3	12	11
<b>「乳児保育を担当している方」</b>				
1	乳児期にふさわしい安全で衛生的な環境を心がけている。	7	3	1
2	授乳は子どもの欲しがるときにゆったりと行っている。	4	2	1
3	ひとりひとりの育ちに合わせ、家庭と連携しながら離乳食を進めている	5	1	1
4	ひとりひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれる場所や時間を設けている。	4	2	1
5	寝返りのできない子は仰向けに寝かせるなど、乳幼児突然死症候群（SIDS）に配慮した保育を行っている。	6	1	1
6	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている。	8	1	1
7	たて抱きや腹ばいなど様々な姿勢がとれるように配慮している。	5	4	1
8	しぐさや声を介し、欲求を察知してタイミングよく	3	5	1
9	喃語にはやさしくこたえるようにしている。	7	1	1
10	やりとりやふれあいあそを大切にしている。	7	1	1
<b>「特別な配慮や支援を必要とする子どもの保育」1</b>				
1	障がいのある子どもの特性に配慮した個別の計画を作成し、保育を行っている。		5	10
2	障がいのある子どもとない子どもが互いに認め合い、ともに成長できるように配慮している。	2	8	3
3	障がいのある子どもを持つ保護者の気持ちを受け止め、話をする機会などを設け、支援している。	3	4	7
4	医療機関や地域の専門機関から、必要に応じて助言を受けている。	4	2	8
5	障がい児保育の研修などに進んで参加している。		4	10
<b>「保健活動・安全管理」</b>				
1	ひとりひとりの体調をしっかり把握し食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。	12	13	1
2	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全な環境作りの努力をしていますか	10	12	4
3	園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べてり、砂場を掘り起こして整えるなど、安全な環境作りの努力をしていますか。	4	14	8
4	地震等の災害や火災に備え、積極的避難訓練に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか	15	10	1

作成 2024年1月18日

\*26名（保育教諭、保育士、保育補助、看護師）が回答（所属しない項目の箇所に無回答あり）